

学研労協 NEWS ニュース

「茨城共同運動要求書」を提出しました

去る3月18日（金）につくば市広聴室において、「茨城共同運動市町村統一要求書」を五十嵐立青つくば市長に提出し、文書による回答と市長を交えた懇談会の開催を求めました。



この茨城共同運動（県民要求実現茨城共同運動連絡会）は「県民要求の実現をめざして共同する運動組織」として2004

年に結成、現在25団体と12の地域共同運動連絡会で構成され、学研労協は幹事団体となっています。共同運動では、「福祉」「教育」「産業・経済・雇用」「環境問題」等の課題について、茨城県と県内全44市町村に要求書を提出し、回答及び懇談を実施しています。つくばでは、学研労協が代表と事務局を担当し、「新しいつくばを創る市民の会」「新婦人つくば支部」「土浦民商つくば支部」「茨城保険生協つくば」「JMITU 東京電機支部」等、地域内の他団体と一緒につくば地域共同運動連絡会準備会を結成して、つくば市への要求実現を求めて運動を取り組んできています。

昨年度は茨城県の全市町村長宛の統一要求のみの提出となりましたが、今年度は新型コロナウイルスが猛威を振るう中、これまでの要求を見直して一から新たに作り直しつくば市長あての独自要求書も提出しました。

提出は昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から準備会代表（学研労協議長）のみの対応となりましたが、今年度は感染症対策を徹底した上で提出を行うとし、加盟団体の中から茨城保健生協つくば支部からも参加がありました。

県労連では次年度に向けた統一要求書を作成中です。私たちも次年度にむけて引き続きつくば市長あて独自要求書も作成する予定です。これまでと同様に、要求書の作成・提出をつくば地域共同運動連絡会準備会のみならずと共に関心のある地域の問題解決に向けて取り組んでいきたいと考えていますのでご協力をよろしくお願いいたします。